

日本神経精神薬理学会 50周年「記念誌」のコーナー

皆さまご存知のとおり、今年（2020年）、日本神経精神薬理学会（JSNP）は創立50周年を迎えます。そこでさまざまな記念事業が計画されています。その中に50周年「記念誌」の編纂があります。この「記念誌」は会員の皆さまからのご寄稿や、思い出に残るさまざまな写真などから構成されます。

「記念誌」は今年のNPBPPP2020開催に合わせてWEBで公開されますが、このコーナーではそれに先立って「こんな記念誌が出来つつある」という姿を少しご紹介します。映画の「予告編」のようなものだと思ってください。これから完成公開まで、ほぼ毎週一回ご紹介していく予定です。ご期待ください。

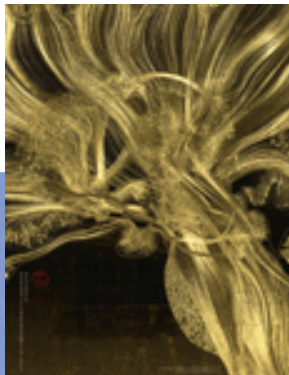
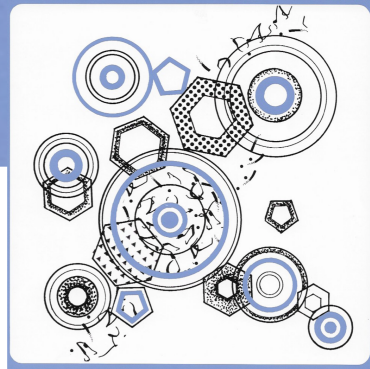
今回は全体の構成と表紙に使った「絵」の由来をご説明します。

2020年6月26日
50周年記念事業Working Group
「記念誌」編集担当：廣中直行

「記念誌」の構成



日本神経精神薬理学会
創立50周年 記念誌



AUG 2020

日本神経精神薬理学会
50周年記念事業 Working Group

「記念誌」の表紙はこんな感じで、どこことなく「なつかしい」と思われる方もおられることでしょう。内容は以下のようなものになる予定です。

巻頭言

「50周年記念シンポジウム」抄録集

海外から寄せられたお祝いの言葉

学会の運営にたずさわってこられた歴代理事長、大会長、名誉会員、現理事の方々からのメッセージ

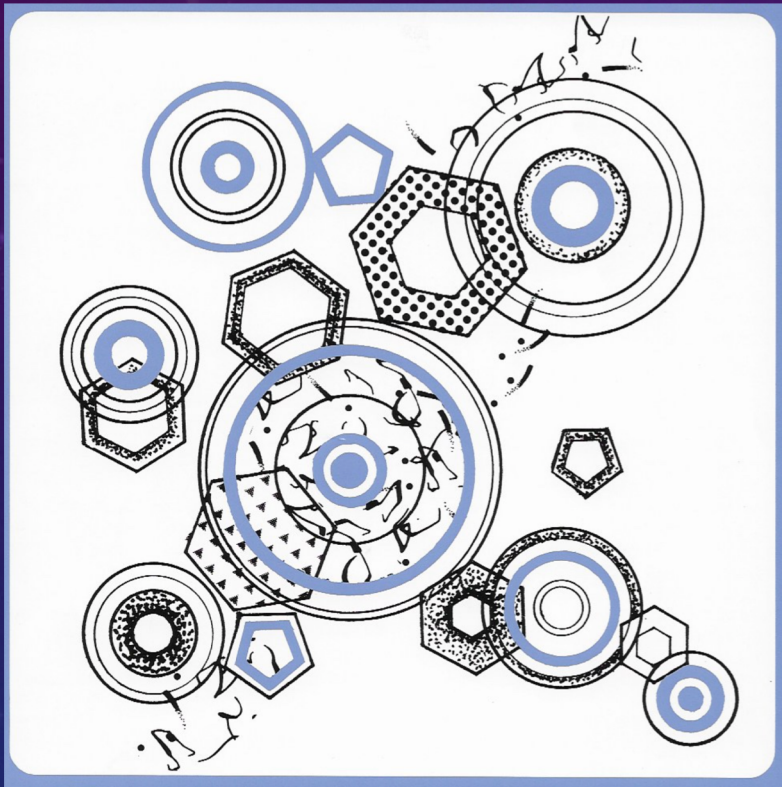
学会員の皆さまからお寄せいただいたメッセージ

資料篇

- ・学会創設にたずさわった先駆者たち
- ・学会の50年(年表)
- ・思い出の写真集
- ・書庫

表紙の絵について

私たちが長年「日本神経精神薬理学雑誌」の表紙で親しんできたこの絵。この由来をご存知でしたか？ この絵は芸術療法で名高い精神科医、徳田良仁先生の作品です。



徳田先生は1925年の生まれ。東京慈恵会医科大学のご卒業、医博。東京大学医学部附属病院精神神経科、日本医科大学精神医学教室、神経研究所附属晴和病院副院長などを歴任されました。この晴和病院時代がJSPNの前身、精神薬理談話会の誕生と重なります。晴和病院におられた加藤 信先生とのご縁で表紙の意匠を手がけていただいたと思います。『夢のひみつ』（ポプラ社、1977）、『創造と狂気』（講談社現代新書、1980）、『芸術を創造する力』（紀伊国屋書店、1986）などのご著作でもよく知られています。

このたび「記念誌」の表紙にこの意匠を使わせていただくにあたっては、徳田先生ご本人のご了解を得ました。

次回の「コーナー」予告

次回はJSNPの前身、「精神薬理談話会」についてご紹介します。

そこでクイズをひとつ。

現在は1,333名の会員をかかえるJSNPですが（ホームページより、2019年10月1日現在）

談話会設立当初の会員数はおよそ何人だったでしょうか？

薬理の方々にはおなじみの対数尺度で行きましょう。

3人？ 10人？ 30人？ 100人？ 300人？ …

正解は次回の「コーナー」で（正解しても賞品などはありませんが）